18年度 建築作品賞

18年度建築作品賞は、4月15日に開いた選考委員会で、優秀賞2点と佳作2点を選出した。優秀賞の2点は10月に都内で開催する日事連全国大会に出展する。応募は7作品。

▪優秀賞▪
◇自然体験交流施設「せせらぎ」　設計者＝㈱カミムラ建築研究室
◇松本理容美容専門学校　設計者＝㈱アーキディアック
▪佳作▪
◇軽井沢の家　設計者＝㈲住まい考房
◇地域材の小さな家　設計者＝蟻川建築設計事務所

講評

信州大学名誉教授　笹川　明

建築業界にとっては逆風がつづく昨今ですが、今年度も7作品の応募をいただきました。

今年度から審査基準にも一部改正があり、地球環境維持への配慮などが、新たにもとめられております。会員の皆様におかれましては、このような時代の新たな要請にも応えつつ、地域の風土性に配慮して、良好な建築環境をつくっていっていただければと思います。

さて、それでは審査評について簡単にご紹介し、皆様の今後のご参考にしていただければと思います。

審査評

優秀賞

せせらぎ（自然体験交流施設）

この作品は、安曇野市の犀川沿いの河川敷公園に、プロポーザル形式で建てられた地域の交流施設です。冬場の風向きを考慮し、採光や風力・太陽光などにも工夫をした取り組みをみせ、全体的に環境配慮に優れていますが、とくに半円すい形の屋根に覆われた建物の中心部を屋外と一体に利用することも可能なように設計されており、そうした構造的工夫がまた周辺環境とも溶け合った点が、とくに評価されました。

長野県理容美容学園　**松本理容美容専門学校**

この作品は、松本市に建てられた大規模な理容・美容の学校建築です。道に近いところに模擬実習室を、また交流広場に面して体育館を配置するなど、外部に対して開かれた配置計画が行われており、工夫された採光や適当かつ巧妙な構造計画などがみられ、全体的に優れた設計手法をみせる建築作品であると評価されました。

佳作

軽井沢の家

戦前の軽井沢の別荘建築を再現しようとされた作品です。当時のデザインをよく研究し、手間のかかる洋風建築を、手作り部分も加えながら真摯に造られている点において、職人的仕事の向上にも貢献していると思われる点が評価されました。

地域材の小さな家

低コストでありながら、自然素材にこだわって家造りをしている点が評価されました。地場材を90％使っている点も評価されましたが、軒の出や格子の耐候性などに、自然環境に対する配慮がすこし軽視されている点があるとの指摘もありました。

建築作品賞受賞作品紹介

佳作　軽井沢の家

正統派軽井沢別荘の系譜
日本式西洋館

建設地　北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字池ノ尻891-1／構造・規模　木造２階建て、延べ床面積137.46㎡／設計者㈲住まい考房/施工者 ㈲陸大

▪軽井沢の家▪はその別荘地内に建つ。建築主は日本式西洋館の姿を軽井沢らしさと捉え、職人の手仕事を大切にしたいと考えていた。また、冬期の使用も可能にすることや耐久性、防犯性を高めたいということであった。そこで、以下の方針を立て設計にのぞんだ。
①木造在来工法で地域の木材を出来るだけ使用する②ベタ基礎とし、床の懐を出来るだけ深くする（湿気対策）③外壁開口部は、断熱性を高めると共に防犯対策として雨戸や格子を取り付ける④外壁１階部分は竪張り板、２階部分は真壁造りとして焦げ茶色の木部とシックイのコントラストを強調する⑤キッチンやフェンス、手摺などを手作りで⑥梁の木材加工の一部をチョウナで⑦冬期用として、薪ストーブやファンコイルヒーターを設置⑧周辺環境との調和（樹木を残す）

■設計
有限会社 住まい考房
代表取締役　清　水　　宏
http://www.sumai-k.com
塩尻市大門七番町14-18
TEL(0263)53-8388 FAX(0263)54-3810

■施工
有限会社 陸大
代表取締役　黒　澤　　弘
http://www.rikudai.co.jp/
南佐久郡小海町大字豊里2211
TEL(0267)92-2983 FAX(0267)92-3582

優秀賞　せせらぎ（SESERAGHI）

建設地　安曇野市明科中川手2455／構造・規模　木造平屋建て（延べ床面積314.768㎡）／竣工日　平成15年12月24日

【設計コンセプト】

建築の周囲の環境は、河川敷地沿いの田園で、河川敷に設けられた公園の「水辺の学校」整備事業と連動した自然体験交流施設として旧明科町のプロポーザルコンペ形式によって実施された。

敷地に接する河川の清流、公園、遠望できるアルプスの景観を担保に、景観を損なわず、そして冬場も含めた利用を促進できるようにという市民を含めた委員会の要望に応えたものである。

田畑の中の敷地であり、電力を含む設備等のエネルギー供給源からも離れていることなど制約があったことから、冬場の広場利用促進を図る防風を計算した屋根勾配、建築中央部への採光確保による採暖化、風力と太陽光を利用した外灯などの提案がなされている。また、これらの建築環境を具現化するための仕掛けとして、広場に面した開口部を開閉可能な大扉によるスクリーンを設けている。このスクリーンは広場と一体になった交流のための舞台になるばかりでなく、夏涼しく、冬暖かいという「環境共生」を実現した。

■設計
■ 企画・設計監理・環境・まちづくり
KAMIMURA ARCHITECTS&ASSOCIATES
株式会社 カミムラ建築研究室
代表取締役　上　村　保　弘
〒390−0814　松本市本庄2丁目8番1号
TEL(0263)32-4268

■施工
ひとに優しい未来を創る ASUPIA AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA
ISO9001 ISO14001 認証取得企業
株式会社アスピア
代表取締役　百　瀬　方　康
本社／松本市宮渕1-3-30
TEL(0263)32-8855

佳作　地域材の小さな家

建設地　中野市中野1769—３
構造・延べ床面積　木造２階建て・95.19㎡
竣工日　平成17年８月
設計者　蟻川建築設計事務所　蟻川幸治
施工　㈲蟻川建設

計画するうえで、配慮したのは「ローコスト」。２階床板がそのまま見える踏み板天井を採用し、シンプルな意匠と大工の手間を省いたことでコスト軽減ができた。施主の理解もあり、ふんだんに地域材を用いることができたのも特徴（使用率90％以上）。ほかに、火山灰が原料の塗り壁などを使用することで、健康住宅も実現。シンプルな外観で周囲の景観になじむことにも成功した。

■設計・施工
健康住宅　地域材・自然素材の家づくり
Arikawa Kensetu
有限会社　蟻川建設
代表取締役　蟻　川　正　孝
中野市大字中野1811-2
TEL(0269)22-2063　FAX(0269)22-7261

優秀賞　学校法人長野県理容美容学園　松本理容美容専門学校

国道19号に近く、準工業の業務地域と二種中高層住居地域のマンション群に囲まれ、南に住宅団地が広がる雑然とした地域にある。そこで、この環境を、芝生の絨毯と種々の植栽や鉄平石の小道により緑のキャンパスとし、地域に潤いをもたらす環境へ変えるよう試みた。そして日常的には、このキャンパスが住民の憩いの場として、また学園祭など学園の行事を通じて学生と地域との交流の場になるよう計画した。

次に建築は北アルプスを望む山岳都市松本をイメージした手づくりタイルを主材として構成し、国道から学生の活発な活動など学生生活をうかがい知ることができるとともに、地域のランドマークになり、地域と学校の、また学生と卒業生にとって誇りと愛着が持て、将来にわたって記憶に残る環境と建築を目指した。

平面計画にあたり、学生ホール、学生テラス、体育館などを配し、時間により学生が選択できる空間に変化を与え、学生が集中し落ち着いて学べるよう配慮した。また玄関展示ホールは、先生や学生同士のコミュニケーションを生む場として、将来にわたる人間関係が築ける環境を目指した。そして、学園祭やヘアショーなど様々なプログラムを生み出せる体育館と交流広場の一体化、また模擬店舗による実習や卒業生の技術向上など、学習を通じた社会との接点として模擬実習室を計画し、総じて技術習得に偏りがちな専門学校において社会人としての教育の場を充実させた。

３カ所に設けられた階段により、各教室から全て２方向に避難が可能とし、安全に配慮した。冷暖房のガス式ヒートポンプや給湯の熱源には、温暖化、酸性雨、オゾン層破壊が少ないクリーンエネルギーの液化ガスを採用し地球環境の保護に配慮した。

建設地　松本市宮田11—57ほか／構造・規模　ＲＣ造４階建て、延べ面積3874.56㎡／竣工日17年１月31日／設計者　㈱アーキディアック／施工者　北野建設㈱—山岸建設㈱共同企業体

■設計
建築・都市・環境・情報 Archideach Architect & Associates, Inc.
株式会社 アーキディアック
代表取締役　児野　登
長野県松本市島立1132-25 〒390-0852 tel/0263-47-7766 fax/0263-47-0462

■施工　北野建設・山岸建設共同企業体
企業文化を創造する
北野建設株式会社
会長兼社長　北 野 次 登
本社／〒380-8524　長野市県町524
TEL026(233)5111　FAX026(235)3113

—— 地域の皆さまのお役に立てる ——
特定総合建設業
山岸建設株式会社
代表取締役社長　山岸邦太郎
岡谷市成田町2-6-15
TEL(0266)23-3100㈹　FAX(0266)23-2108